

もうすぐ9月

西日本を中心に台風の接近に伴い大荒れの天気になっています

ここ久我山も時折、断続的に雨脚が強くなっています

人類も地球上の生物の一つです。地球が行う自然な営みの影響は受けねばなりません。

しかし、対応できる範囲をドンドン超えている様な・母なる地球が少し変わっているような

そんな今年の夏。夏好きには大変消化不良気味な夏でした。

ですが・ちょっと「懐かしい日本の夏」が半世紀ぶりに私に戻ってきたのです。

私「盆踊り」踊りました。成人時代は見向きもせず、母になった頃、縁日に行きたがる子どもを

連れ顔出す程度。もちろん踊る事なんてなくて・・・私が踊った記憶ははるか昔の出来事

いま・それを思い出すと鮮明に覚えている情景が一つあります。

櫓(矢倉)の上で踊る母。赤い口紅を入れて少し派手な揃いの浴衣で、

裸電球に照らされ踊る母はいつもの母とちがって

少し妖艶な美しい女(ひと)でした。

そんな母を見上げながら身ぶり手ぶりを真似して踊っている。

そんな私が約半世紀ぶりに浴衣で踊った&踊るのであります！



その日、指導して下さる方のご自宅へ浴衣持参で伺いました。(ハイ浴衣1人で着れません！)

するとCD から「ハアー踊り踊るならチョイと東京音頭ヨイヨイ」と流れてきた途端

なんと私自然に手足が動くのです。我ながらびっくり！もちろん、少したどたどしくはありますが、少なくとも

方向性は正しい。ちゃんと盆おどり。炭坑節に至っては「掘って掘ってまたほって・・・」と

言いながら踊れる始末！「スゲーじゃん！私」

最初は少し戸惑ったお誘いでしたが、なんだかとても楽しくて・・・

花笠音頭ではちょっと格好つけてしまったぐらいのノリで90分楽しく練習に励みました。

今年の7月31日やっと梅雨あけした夜。上高井戸館でディスコ大会をしました。

老若男女35名。見知らぬ同士もいる中で、全員がエイトビートに身体をあずけ。

七色に輝くミラーボールに照らされながら、みんなでワイワイ踊り明かしました。

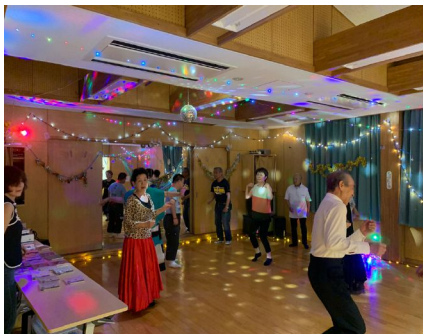
そうです。盆踊りもディスコもみんなで踊るその楽しさにはなんら変わりません。

巷では「盆ダンス」という若者呼び込み型盆踊り会もある様です。よって、私考えました

今度のディスコ大会では「東京音頭」「炭坑節」をかけます。

盆ダンスが「有り」なら、「盆ディスコ」だって「有り」じゃない？！「昔取った杵柄」昔でOK です

上高館のフロアでフィーバーしましょう！！ 旧盆も終わろうとしているもうすぐ9月です。



2019年7月31日上高井戸館ディスコの夜